

# 2006年度 東山梨教育協議会研究の概要

研究推進委員長 倉田 憲一

## I はじめに

東山梨教育協議会は、東山梨地域全体の教育振興を願って、1964年（昭和39年）に校長会・教頭会・教連の三者が、県教委、各地教委の協力により設立され、42年が経過しようとしている。これまでの活動の中で私たちは「平和を守り、真実を貫く民主教育の確立」のスローガンののもと、平和で民主的な社会を作るための教育研究・実践が重要であることを確認し取り組んできた。また、管理職、教諭、専門職員が協同して組織研究を進め、東山梨地域の学校教育の向上、教職員個人の質的な向上、教職員相互の強固なネットワークの構築をはかってきた。

しかしながら、昨今の学校教育を取り巻く環境は、厳しさを増すばかりである。中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」平成17年10月26日には、義務教育の目的・理念として次のような件がある。『変革の時代であり、混迷の時代であり、また、国際競争の時代でもある今日、人材育成の基盤である義務教育の根幹は、これまでのどの時代よりも強靱なものであることが求められる。教育を巡る様々な課題を克服し、国家戦略として世界最高水準の義務教育の実現に取り組むことは、我々の社会全体に課せられた次世代への責任である。』『変革』『混迷』『競争』『国家』『戦略』『強靱』など、教育とはほど遠いと思われるような単語が続く。ここからだけでも教育を取り巻く環境がいかに厳しいものかがわかる。「ゆとり教育」から、「国際競争」にうち勝ち「世界最高水準」の学力を「国家戦略」によって付けていこうとする動きへ、教育は大きく変わろうとしている。

このような中であって、私たちは、常に子どもたちのことを中心に据えて教育課題に取り組んでいかなければならない。私たち教職員は、目の前の子どもたちの状況をしっかりと見つめ、すべての子どもたちを「学びの主体」として、その人権・学習権を保障し、「共に生き、共に学ぶ」教育を積極的に進めていかなければならない。さらに、子どもたちにとって本当に大切なものは何かを考え、どの子にも楽しくわかる授業実践・教育実践を工夫する取り組みを進めていきたいと考える。

## II 研究の推進について

### 1 研究の目標

基本目標 「平和を守り真実を貫く民主教育の確立」 「国民の教育権の確立」  
統一テーマ 「人間性豊かな子どもの育成とその学習を保障する教育活動の探究」

### 2 研究推進の基本方針

- (1) 教協研究の歴史的重みを重視し、東山の抱える教育問題解決のための研究を推進する。
- (2) 自主創造的な教育課程編成運動の取り組みを強化推進する。
- (3) 各学校の校内研究との有機的結びつきとその充実を図る。
- (4) 家庭・地域住民との連携を強化する。
- (5) 組織研究を充実発展させるために、積極的な参加意識の高揚と組織的参加体制の確立を図る。
- (6) 平和・人権・環境教育を積極的に推進し、生命の尊さや平和の大切さの意識高揚を図る。

### 3 研究の組織づくり

研究の基底は校内研究にあるとの認識に立ち、課題の本質に迫り、解決の方法・内

容を考えたり，専門的力量を高める教育研究部会と，同じ地域に勤めるものが課題を共有し，連携をはかりながらその解決策を探るブロック交流研究会，さらに特別委員会を設け教協研究を推進した。以下，具体的に掲げる。

(1) 教育研究部会

共通テーマ

「人間性豊かな子どもの育成と教科教育課程の自主創造的な編成をめざし，教育の本質を実践的に追究する。」

	部 会 名	部 長	学校名	テーマ	
1	日本語教育	柳沢好子	塩山北小	豊かな表現力の育成 ー伝えあう力を高める指導の研究ー	
			中学校	数野 透	松里中
2	外国語教育	水上かおり	笛川中	基礎学力をつけるための指導工夫	
3	社会科教育	深澤真人	塩山南小	科学的社会認識を育てる授業研究	
			中学校	三枝比出夫	松里中
4	算数・ 数学科教育	算 数	一瀬麻子	加納岩小	楽しく学び，高め合う算数学習をめざして
		数 学	奥山邦次	塩山中	わかる授業の工夫と授業実践 ー基礎学力の定着と考える力の育成ー
5	理科教育	小学校	野尻政彦	塩山南小	わかる理科授業の創造
		中学校	小林誠治	松里中	わかる理科授業の創造 ～新教育課程に対応する教材教具の工夫～
6	音楽科教育	岩間敦子	牧一小	音楽大好き！～音楽のよさや美しさを感じたり表現したりしよう～	
7	美術・図工科教育	大村真智子	塩山中	一人一人の力を引き出す題材と支援のあり方 「鑑賞」領域に視点を置いて	
8	技術科教育	藤原祐喜	笛川中	ものづくりを通して生きる力を育てる指導研究 ～特色ある栽培学習～	
9	家庭科教育	向山栄子	塩山北中	感じとり体験して生きる力が育つ授業づくり ～食領域を通して～	
10	保健体育科教育 (小学校)	堀井勝彦	勝沼小	教材の本質をふまえた体育指導のあり方 ～バスケット・バスケットボール型ゲームを通して～	
11	保健体育科教育 (中学校)	矢澤恵美子	勝沼中	体育分野における授業の効果的な指導法 ー指導形態や場の工夫ー	
12	保健教育	島田由美	三富小	山梨 児童・生徒が意欲的に取り組める健康教育 をめざして ～健康教育の効果的な指導に役立つ教材教具作り～ 甲州 心身ともに健康な生活を送る子どもをどう育てるか ～健康な生活習慣への取り組み～	
13	生活科教育	沼田豊子	牧三小	意欲的に生き生きと活動する子どもの育成 ～目標に迫る授業づくりの工夫～	
14	自治的諸活動	飯島典子	神金小	一人ひとりの自立をめざした学級づくり	
15	生活指導	飯島聖華	山梨北中	すべての子どもへの心理的・教育的援助のあり方	
16	障害児教育	萩原陽子	後屋敷小	一人ひとりの発達段階をふまえた指導のあり方～自立をふまえて(どの子も共に生き共に育つ)～	
17	福祉教育	三森敏彦	奥野田小	小学校における福祉教育のあり方をさぐる	

18	食教育	風間美智子	大和小	食生活を考えよう 子どもたちの食習慣
19	平和・人権教育と国際連帯	高添 勉	大和小	平和 人権教育 国際連帯の広がりをめざして
20	環境教育	本宮 聡	加納岩小	自然との共生を目指した環境教育のあり方 ~身近な環境や自然に対し主体的に関わることのできる子どもの育成~
21	情報化社会と教育・文化活動	川崎 剛	祝小	情報活用能力を高める研究
22	進路教育			
23	保護者・地域住民との提携	渡邊由美子	東雲小	開かれた学校づくりをめざして
24	教育条件整備	小林ますみ	日川小	豊かな教育を子どもたちに
25	カリキュラムづくりと総合学習	小野紀男	岩手小	豊かで創造的なゆとりある教育課程の編成
26	教育評価	古屋真吾	山梨南中	生きる力を育む評価の在り方

## (2) ブロック交流研究部会

### 共通テーマ

「地域が抱える教育課題を共有し・解決に向けた交流を行い、同一地域の小中連携や小中の系統的な教育のあり方を追究する。」

ブロック名		ブロック長	ブロックテーマ
山梨 支 会	山梨北 ブロック	小野 紀男 (岩出小)	○小中の連携を深め、山梨北ブロックの児童・生徒の指導に生かす
	山梨南 ブロック	堀内 玉恵 (加納岩小)	○望ましい小・中連携のあり方について
	笛川 ブロック	八巻 恵子 (三富小)	○小・中学校の連携を深めると共に、地域の様子や子どもたちの実態を知り、指導に生かしていこう
甲 州 支 会	塩山 ブロック	滝島 正彦 (塩山北小)	○小中学校の交流を図る中で、地域の様子や子どもたちの様子を知り、連携して塩山中学区の子どもたちを育てていこう
	塩山北 ブロック	竹川由美子 (玉宮小)	○小中の連携をはかり、塩山北中学区の子どもたちを育てていこう
	松里 ブロック	寫本 弥生 (松里小)	○同じ地域に学ぶ子どもたちの教育のために小中・地域の交流と連携を深めよう
	勝沼 ブロック	海沼 潤子 (勝沼小)	○小中学校の連携をはかり、同じ地域に生活する児童・生徒に対する系統的な教育のあり方を追求する
	大和 ブロック	桐原 誠之 (大和中)	○小学校・中学校の連携の強化と、授業参観および意見交換を通じた系統な教育のあり方の追求

## (3) 特別委員会

### ア 教育環境研究特別委員会

(委員長 相川芳廣委員長 委員…校長会・教頭会・教連・事務職)

### イ 児童生徒連絡協議会

(会長 山梨北中学校生徒会会長 志田康平 顧問教員 奥山万寿美)

## 4 部会運営

本年度は、教育研究部会25部会、ブロック交流研究会8部会の成立をみた。教育研究部会は年間10回、ブロック交流研究会は年間3回設定し研究活動を行った。年間計画等、きちんとした見通しの上にならざる研究活動を更に推進していくことが重要である。

## 5 研究日と研究集会

毎週水曜日を研究日とし、郡教協研究日以外は校内研究にあてるが、この確保の努力が不十分な面もある。厳に校内行事等入れないで研究時間を確保してほしい。春季・秋季及び冬季研究集会は半日開催とし授業時間の確保を図った。春季・秋季研究集会は午後2時10分から、冬季教研集会は午後3時30分からの開催とした。

## 6 研究推進地区

山梨支会の山梨地区を研究推進地区とし、山梨北中学校を会場に各種教研活動がおこなわれた。

## 7 教育講演会

8月16日(水) 山梨市民会館 講師 童話作家 あまんきみこ先生  
演題 「あまんきみこさんと語る」～こころの中の年輪

## Ⅲ今後の課題

学力低下論、学ぶ意欲や生活習慣の未確立、後を絶たない問題行動など義務教育をめぐる状況には深刻なものがある。公立学校に対する不満も少なくない。前述の中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」には、『我々の願いは、子どもたちがよく学びよく遊び、心身ともに健やかに育つことである。そのために、質の高い教師が教える学校、生き生きと活気あふれる学校を実現したい。学校の教育力、すなわち「学校力」を強化し、「教師力」を強化し、それを通じて、子どもたちの「人間力」を豊かに育てることが改革の目標である。』とあり、さらに『とりわけ重要なのは教職員である。教育は、教師と子どもたちとの人格的ふれあいを通じて行われる営みである。人間は教育によってつくられると言われるが、その教育の成否は教職員にかかっていると言っても過言ではない。』と続く。教師という職業の責任の重さをあらためて感じる。もしかすると教師という職の責任は、私たちが感じている以上に大きく重い物になりつつあるのかもしれない。そのことに私たちはどこまで気づき感じているであろうか。また、そんなときであるからこそ、(上記の文言をすべて容認するわけではないが)本当の意味での教師としての力や学校としての力を身につけ、高めなければならないと感じる。そして本研究組織が、真の学校力・本当の教師力を学び身につけることができる場・集団でありたいと考える。

### 《東山梨教育協議会役員》

役員名	氏名
会長	矢崎 富重 (塩山中)
副会長	樋口美根夫 (日下部小) 青柳 俊雄 (井尻小)
事務局	倉田 憲一 (塩山北中) (研究推進委員長・事務局長) 久保田英樹 (勝沼小) (事務局次長)
委員	矢崎 富重 (塩山中) 武井今朝英 (牧丘二小) 名取 源文 (日川小) 吉田 一郎 (井尻小) 佐々木與比古 (山梨小) 樋口美根夫 (日下部小) 雨宮 政文 (岩手小) 依田 一秀 (加納岩小) 澤田 隆雄 (山梨北中) 平井 隆 (勝沼中) 青柳俊雄 (井尻小) 古屋宏記 (塩山南小) 倉田憲一 (塩山北中) 那須丈彦 (山梨南中) 久保田英樹 (勝沼小)
会計	那須丈彦 (山梨南中)
会計監査委員	古屋安廣 (勝沼小) 谷沢英治 (塩山北中) 古屋雅章 (日川小)